

Ⅲ 研修等の概要

県では、『千葉県職員人材基本方針』に基づき、職員の能力開発に積極的に取り組んでいます。

1 職員能力開発センター研修

(1) 階層別研修

職員ごとの階層に応じた必要な知識・技能を習得し、期待される役割を果たせるよう、節目の年などに実施する研修です。

新規採用職員研修や年度中途採用者を対象としたスタートアップ研修のほか、フォローアップ（入庁2年目）研修、中堅職員（入庁10年目）研修など、各段階で実施しています。

(2) キャリア開発研修

職員それぞれの環境に応じ、持っている力を十分に発揮できるよう、自己理解やキャリアビジョンの形成を促進する研修です。

(3) 職員力向上研修

職員として理解しておくべき知識及び職務の遂行に必要な一般知識を習得させることを目的として実施する研修です。

(4) パワーアップ研修

政策形成力やコミュニケーション力などのスキルをさらに伸ばすため、自らの希望や上司の助言に応じて受講できる選択型の研修です。

「企画力向上」、「変える力向上」、「協働・共創力向上」、「マネジメント力向上」及び「公務員力向上」の5コースで実施しています。

(5) 特別研修

喫緊の課題及び重要な課題などに対する理解を深めるため、旬のテーマを取り上げて実施する研修です。

今年度は著名人による特別セミナーなどを実施しています。

2 自主的学習

職員は、目指すべき職員像を踏まえ、現在の自分の強みや弱みを知り、将来のありたい自分に成長できるよう自らの能力開発を動機付け、自発的・計画的に学習することが必要です。職員能力開発センターでは自主研究グループ活動支援事業など、職員の自主的学習を推進するため支援を行っています。

また、令和7年度に、職員がビジネススキル・最新の知識などを「いつでもどこでも学べる」研修プラットフォームを導入しました。民間の研修コンテンツなども揃えており、スキルアップ・自己研鑽に活用することができます。

3 職場学習（OJT）

各職場の所属長等が所属職員を対象に、職務に関する知識や技能等の習得、業務における課題解決などを目的に実施し、職員の能力開発と職場の活性化を進めます。

職場学習（OJT）には、①職場内の個別指導、②職員間の相互学習、③所属内で実施する集団学習、の3つがあります。

4 部局研修

職員の業務の遂行上必要な知識及びスキル等を習得させることを目的として、部局長等が実施する研修です。

部局研修は、職員能力開発センター研修とも連携し、職員による自主的学習と職場における能力開発を推進・支援し、職員の能力開発を行います。

5 派遣研修

県と別組織で業務を行い、様々な体験をすることは、職員の意識改革や人材育成に効果的であり、従来の仕事の取り組み方や組織風土に新しい風を吹き込むことにもつながります。また、県の組織では得られない専門的な知識やノウハウを習得する絶好の機会となります。

そのため、民間企業や国、その他の研修機関等への派遣研修を実施しています。

（1）長期海外派遣研修

職員を長期にわたり海外に派遣し、県行政に関連する諸施策の海外状況を調査研究させることにより、職員の視野を広め、資質の向上を図り、もって県行政の高度かつ効率的な運営に資することを目的とします。

期間は1～2年程度で、主な派遣先は、(独)日本貿易振興機構（ジェトロ）です。

この他、職員自ら発案した研修課題等の解決のため、職員を短期間（2週間以内）海外に派遣する研修も実施しています。

（2）民間企業派遣研修

職員を企業等に派遣し、その経営感覚や経営の実態を体験的に学習させることにより、職員の意識の改革と資質の向上を図り、もって県行政の効率的な運営に資することを目的とします。

期間は1～2年程度で、主な派遣先は、(株)千葉銀行、イオンモール(株)、三井不動産(株)です。

（3）国・都道府県派遣研修

職員を国の機関や都道府県に派遣し、各種業務を経験させることにより、職員の視野を広め、資質の向上を図り、もって県行政の進展に寄与することを目的とします。

期間は1～2年程度で、主な派遣先は、総務省、国土交通省、東京都等です。

《体系図》

